

都市再生整備計画 フォローアップ報告書  
瀬戸まちなか地区

平成28年6月

愛知県瀬戸市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
指標1	自治会等の地域活動が盛んであると思う市民の割合	%	30.8	53.9	27.5	確定 ● 見込み	×	あり なし ●		H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	道泉地域交流センターが建設され、地域活動の拠点が創設されたものの、住民アンケートによる「地域活動が盛んであると思う市民の割合」の増加は見られなかった。地域交流センターの整備完了から間もないため、地域活動が一部の住民に限られ、地域全体に波及していないものと考えられる。	
指標2	生涯学習等講座数の増加	講座	6	12	12	確定 ● 見込み ●	○	あり なし	12	H26年6月	○	—	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	道泉地域交流センターの建設により、活動拠点機能が強化され、地域活動の幅が広がったことから、生涯学習等講座数の増加につながり、目標を達成した。
指標3	駅乗降客数	人/日	9,700	9,700	10,048	確定 ● 見込み ●	○	あり なし	10,438	H26年6月	○	—	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	新瀬戸駅の交通広場や、周辺道路等の整備により、駅利用の利便性が向上した。また、周辺の住宅地の開発が進み、生活拠点としての機能が高まったことから、駅乗降客数は増加した。
指標4						確定 見込み		あり なし		H 年月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 見込み		あり なし		H 年月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
その他の数値指標1	地域力向上事業による地域活動数	—	7	/	12	確定 ● 見込み ●	/	/	15	H26年6月	/	—	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	道泉地域交流センターの建設により活動拠点機能が強化され、地域活動の幅が広がった。また、地域力向上アクションプランに基づく地域組織の中で、様々な分野のグループが編成され、地域内の課題把握から解決まで、地域の中で実施する流れが定着しつつある。
その他の数値指標2						確定 見込み				H 年月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3						確定 見込み				H 年月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

## 2. 今後のまちづくり方策の検証

### 様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	地域コミュニティの向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動機会の創出と情報発信</li> <li>地域活動に対する費用の一部助成等による活動支援</li> </ul>	地域力向上委員会の地域活動数が増加した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民による課題発見、解決の活動の活発化</li> <li>地域組織と行政の連携強化</li> <li>地域組織や地域活動についての情報発信の強化</li> <li>地域活動の新規参加者の増加</li> <li>生涯学習講座等の新たな地域活動の検討・実施</li> </ul>
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	中心市街地における都市機能の集約と充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>病院等保健・医療施設の充実</li> <li>主要幹線道路の整備推進</li> </ul>	主要幹線道路の整備により、医療施設へのアクセス性と安全性が向上した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>立地適正化計画の策定と、総合計画及び都市計画マスタープラン等のまちづくり方針との整合</li> <li>中心市街地における、既存の都市機能の活用と充実、及び更なる機能集約の推進</li> <li>中心市街地への人口誘導、生活拠点としての機能充実</li> <li>安全・快適に通行できる道路の整備</li> </ul>
	公共交通における利便性の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>駅周辺の安全対策及び交通結節点機能の拡充</li> <li>道路整備によるアクセス性の向上</li> </ul>	駅へのアクセス性が向上すると共に、バリアフリー化によって、安心して利用できるようになった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>周辺地域から駅までのアクセス性の向上</li> <li>様々な人が駅を安心して利用できるよう、バリアフリー化の推進</li> </ul>
	安心・安全な環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災広場、避難所等の整備</li> <li>道県消防分団詰所整備</li> <li>地域活動の継続的な実施</li> </ul>	消防分団詰所の整備完了により、地域住民の防災意識が向上し、防災活動が活発化した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>安心・安全な子供の遊び場の確保</li> <li>大規模災害に対応した避難所、避難場所等の確保</li> <li>防犯・防災への啓発活動の実施</li> </ul>

事後評価シート 添付様式5-③から転記

### 様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項

平成  
2

# 都市再生整備計画(精算報告)

瀬戸<sup>せと</sup>まちなか<sup>ちく</sup>地区

愛知<sup>あいち</sup>県 瀬戸<sup>せと</sup>市

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	愛知県	市町村名	瀬戸市	地区名	瀬戸まちなか地区	面積	169 ha				
平成28年6月	平成	23 年度	～	平成	25 年度	交付期間	平成	23 年度	～	平成	25 年度

<b>目標</b> 安心・安全で、住民同士の交流を中心とした、生きがいあふれるまちづくり ○住民同士の幅広い交流の創出 ○安心・安全な環境整備
--

<b>目</b> 平成25年 月 まちづくりの経緯及び現況 <p>瀬戸市のまちなか地区は、西端に名鉄瀬戸線新瀬戸駅と愛知環状鉄道瀬戸市駅の交通結節点であり、広域的な移動における主要な拠点となっています。ここから徒歩圏に瀬戸市役所や公立陶生病院が立地している他、市民の主要な親水空間である瀬戸川が東西に流れ、多くの市民の生活に関わりの深い地区になっています。まちなか地区の東に位置する道泉地域は、古くから本市の中心地として、文化や産業、交通の中心でした。現在も、本市のまるとミュージアム構想の拠点施設であるパルティセと、瀬戸蔵などの公益施設が設置されています。また、瀬戸の玄関口として名鉄瀬戸線尾張瀬戸駅が多くの住民や観光客に利用され、先述のパルティセからはコミュニティバスが市内各地に発車しているなど、現在も人々の交流の拠点地域となっています。</p> <p>しかし、道泉地域においては、年々人口が減少するに伴い、高齢者数の増加(H21年度:1,178人、H22年度:1,198人)が進んでおり、高齢化率も26.9%と本市全体の高齢化率22.7%を上回っています。特に地域内の高齢者世帯のなかでも、独居世帯が最も多くを占める地域であり、災害時の危険や犯罪に巻き込まれる危険をはらんでいるなど、住民の暮らしの中で大きな不安を抱えている地域であります。</p> <p>また、年少人口が減少する中、地域の公園の遊具等の老朽化もあり、こどもたち同士の交流の機会が減少しています。こどもたちが安全に遊び、交流するなかで、互いに学び合える場の確保が必要となっています。</p> <p>本市は第5次瀬戸市総合計画において「自立し、助けあって、市民が力を発揮している社会」を将来像とし、この実現のために「地域力向上プラン」を策定し、地域住民自らが、主体的に地域の課題解決に取り組み、それぞれの地域の実情に応じた地域づくりを行う取り組みを進めています。道泉地域は他の地域を先導するリーディング地域として、「地域力向上アクションプラン」を策定し、そのプランに基づいた活動を、住民が主体的に行っています。活動としては、高齢者のふれあい会や小学校児童の安全のため高齢者を活用したスクールガードなどを実施し、地域の問題解決にあたっています。</p> <p>また、都市計画マスタープランでは、尾張瀬戸駅周辺及び新瀬戸駅(瀬戸市駅)周辺を中心的な生活拠点として位置づけ、まちなか居住を促進するため、商業、福祉、文化等多様な都市機能の充実・立地誘導を進める地区とされています。</p> <p>新瀬戸駅・瀬戸市駅周辺については、市内鉄道駅の駅別利用者数において、新瀬戸駅の利用者数が最も多くなっていること(全体の26.4%)や新瀬戸駅と瀬戸市駅の乗り換え数も増加している現状からも2駅間の円滑な乗り換えを確保すること、また、身障者・高齢者等利用者の安全性の向上を図り、北・南口の駅前整備を行うことで、一般乗降客の利便性の向上・安全を図る必要があります。また、駅前広場においては、多目的スペースとすることで市民の交流の場として活用が期待されます。</p>
<b>課題</b> 住民同士の交流が促進される施設の整備を行うことにより、地域住民の安心・安全が保障され、住民主体の活動が活発になることによる「生きがいづくり」や地域問題の解決を図ることが急務となっている。
<b>将来ビジョン(中長期)</b> (第5次瀬戸市総合計画) 将来像:自立し、助けあって、市民が力を発揮している社会 ○地域の課題を自ら解決するための市民活動や国際交流事業が多方面にわたって活発に展開されている。また、男女がともに個性と能力を生かし、責任を分かちあい、あらゆる分野の活動に参画できる社会になっている。 ○地震などの災害に対する備えを強化するとともに、地域でお互いに協力しあって防災対策に取り組み、安全に安心して生活を送っている。 ○市民が防犯、交通安全に対する意識を高め、備えているとともに、地域でお互いに協力しあって防犯・交通安全対策に取り組み、安全に安心して生活を送っている。 ○家庭・地域やボランティア(市民・企業など)・NPO・学校・行政が子どもの教育に主体的に関わり、連携してその役割を果たしている。 ○市民が自ら学び、お互いに学びあい、自ら行動することで、自己を高め、社会に貢献している。 ○市民生活を支える道路が計画的に整備され、市民が安全・快適に生活している。 ○高齢者が自ら持てる能力を活用して地域社会に貢献し、生きがいを持って日々生活している。 (都市計画マスタープラン) ○中心的生活拠点 尾張瀬戸駅周辺及び新瀬戸駅(瀬戸市駅)周辺においては、まちなか居住を促進するため、商業、福祉、文化等多様な都市機能の充実・立地誘導を進める。

<b>目標を定量化する指標</b>									
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値			
					基準年度		目標年度		
自治会等の地域活動が盛んであると思う市民の割合	%	住民アンケートにおいて、地域住民が左記の問いに「そう思う」と「どちらとも言えない」と回答した割合	「目標:住民同士の幅広い交流」の達成状況を確認するため、地域活動に対する市民意識の変化を確認するもの	30.8%	H20	53.9%	H25		
生涯学習等講座数の増加	講座	地域交流センターで開催される生涯学習等の講座数を調査	「目標:住民同士の幅広い交流」の達成状況を確認するため、生涯学習等講座の開催数の変化を確認するもの	6講座	H22	12講座	H25		
駅乗降客数	人	新瀬戸駅の乗降客数(1日)	「目標:安心・安全な環境整備」の達成状況を確認するため、乗降客数の状況を確認するもの	9700人/日	H21	9700人/日	H25		

都市再生整備計画の整備方針等

	計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
	<p>・整備方針1 (住民同士の幅広い交流の創出) 乳幼児や子育て世代、子どもから高齢者まで地域内外の多世代間交流を促進し、ふれあいによる地域のにぎわいの創出と助けあいによる地域力の向上を図るため、道泉地域交流センター(仮称)を整備します。</p>	<p>道泉地域交流センター(仮称)整備(基幹事業:市) 道泉地域交流センター(仮称)附帯事業(提案事業:市)</p>
1 成 2 8 年	<p>・整備方針2 (安心・安全な環境整備) 安心・安全で良好な住環境を確保するため、駅前広場等の生活基盤整備を行います。</p>	<p>(都)新瀬戸駅南口交通広場(基幹事業:市) 瀬戸市駅前広場(基幹事業:市) 道泉消防分団詰所整備(提案事業:市) (都)新瀬戸駅前線(関連事業:市) 安心・安全環境整備事業(関連事業:市)</p>
その他		

